

周南地区林研が「林業作業安全講習会」を実施しました！

令和4年11月29日（火）、山口県周南総合庁舎において、周南地区林業研究グループ連絡協議会（以下「周南地区林研」）会員19名を対象に、「林業作業安全講習会」を実施しました。

この取組は、周南地区林研の自主活動として実施したもので、伐木作業の基本的事項の振り返り及び危険事例の体験等を行うことにより、伐木作業における安全意識の向上を図ることを目的に行ったものです。

当日は、安全衛生教育インストラクターの藤井幸夫さんを講師に招き、「伐木の基本的事項」と題した講義と「VRシミュレーションによる危険事例体験」を実施しました。

最初の講義では、講師より、各種映像や伐木用のヘルメット、防護衣なども御準備いただき、実例を基に非常に分かりやすい内容で講義が行われ、また、会員からも活発な質疑もありました。

続いて実施した「VRシミュレーションによる危険事例体験」では、代表8名の会員がゴーグル越しにリアルな災害体験を経験するとともに、その他参加者もスクリーン上の映像、音声で同様の体験をしました。

会員の中には、現実さながらよろめく人や声を上げる人もあるなど、大変貴重な体験をすることができましたので、このたびの安全講習会を通じて、会員一同、安全作業の重要性を改めて認識しました。

なお、周南地区林研では、今後も、会員同士の交流や技術研鑽を図るとともに、林業労働災害防止に向けた各種取組を進めることとしています。



講義の様子



VRシミュレーション体験